

まちづくりの目標 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまち

政策 3	誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします
------	-----------------------------

施策 08	自立に向けて生活困窮世帯を支援するまちにします	担当部(統括部)	保健福祉部
-------	-------------------------	----------	-------

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						平成23年度	平成24年度	
社会経済状況や国の制度改正に影響を受けはしますが、被保護者の経済的・社会的な自立が進んでいます。					目標	地域の社会資源や各種制度が十分活用されるよう、ケースワーカーが関係機関の情報を習熟している	ケースワーカーが地域の社会資源や各種制度が十分活用されるよう意識している	
					実績			
実現している姿を確認する指標		実績					平成23年度	平成24年度
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度			
生活保護受給世帯からの稼働収入発生・増加による廃止世帯数(自立率)		2.5%	1.9%	2.4%	2.7%	目標	2.7%	2.7%
		実績						
					コメント			

【施策の展開の計画】

施策の展開(◎は重点的な取組み)			平成23年度	平成24年度
◎ケースワーカーの人材育成	保健・福祉についての職員の専門性を高め、生活保護制度の適正な実施運用を図ります。	計画	北部ブロック生活保護事務研究協議会などの集合研修や福祉関係講演会への積極的な参加	北部ブロック生活保護事務研究協議会などの集合研修や福祉関係講演会への積極的な参加
◎面接相談体制の強化	生活保護の対象とならない低所得世帯の人に対し、公共職業安定所(ハローワーク)や社会福祉協議会の各種貸付制度の紹介、年金などの活用が進められるよう、面接相談体制の強化を図ります。		実績(成果)	
◎関係機関との連携強化	多様かつ重層的な生活問題を抱える被保護者に対して、関係部署や保健所などとの連携をさらに強化することで、きめ細かな援助を行い、総合的に自立支援を進めます。	計画	関係機関と情報の共有化を図り、具体的な事案について、こまめにカンファレンス等を開催	関係機関と情報の共有化を図り、具体的な事案について、こまめにカンファレンス等を開催
		実績(成果)		
		次年度課題		
◎就労支援の強化	就労課題を抱える稼働年齢層の被保護者に対して、公共職業安定所(ハローワーク)などとの連携強化のもと就労先の確保を図ります。また、支援相談機能を強化することで就労意欲の向上を図り、経済的自立を進めます。	計画	市の自立支援相談員、ケースワーカー、スーパーバイザーと、ハローワークの就労支援ナビゲーターとで個別の支援状況を集積し評価分析	市の自立支援相談員、ケースワーカー、スーパーバイザーと、ハローワークの就労支援ナビゲーターとで個別の支援状況を集積し評価分析
		実績(成果)		
		次年度課題		

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
地域の社会資源や各種制度が十分活用されるよう、ケースワーカーが積極的に働きかけている	地域の社会資源や各種制度が市民に十分活用されている	地域の社会資源や関係機関との連携により、被保護世帯の社会的経済的自立が進んでいる	地域の社会資源や関係機関との連携がスムーズに行われ、被保護世帯の社会的経済的自立が増えている

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
2.8%	2.8%	2.8%	3.0%

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
北部ブロック生活保護事務研究協議会などの集合研修や福祉関係講演会への積極的な参加	北部ブロック生活保護事務研究協議会などの集合研修や福祉関係講演会への積極的な参加	北部ブロック生活保護事務研究協議会などの集合研修や福祉関係講演会への積極的な参加	北部ブロック生活保護事務研究協議会などの集合研修や福祉関係講演会への積極的な参加
OJTにより、核となるケースワーカーが新人や後輩を指導	OJTにより、核となる職員がスーパーバイザーを補完	スーパーバイザー、専門嘱託員だけでなく、先輩ケースワーカーが後輩を指導	スーパーバイザー、専門嘱託員だけでなく、先輩ケースワーカーが後輩を指導
ケースワーカーの他法施策の習熟とインターク面接における技術向上	ケースワーカーの他法施策の習熟とインターク面接における技術向上	ケースワーカーの他法施策の習熟とインターク面接における技術向上	ケースワーカーの他法施策の習熟とインターク面接における技術向上
関係機関と情報の共有化を図り、具体的な事業について、積極的にカンファレンス等を開催	関係機関と情報の共有化を図り、具体的な事業について、こまめにカンファレンス等を開催	関係機関と情報の共有化を図り、具体的な事業について、こまめにカンファレンス等を開催することにより地域の社会資源を活用	関係機関と情報の共有化を図り、具体的な事業について、こまめにカンファレンス等を開催することにより地域の社会資源を活用
市の自立支援相談員、ケースワーカー、スーパーバイザーと、ハローワークの就労支援ナビゲーターとで個別の支援状況を集積し評価分析	市の自立支援相談員、ケースワーカー、スーパーバイザーと、ハローワークの就労支援ナビゲーターとで個別の支援状況を集積し評価分析	市の自立支援相談員、ケースワーカー、スーパーバイザーと、ハローワークの就労支援ナビゲーターとで個別の支援状況を集積し評価分析	市の自立支援相談員、ケースワーカー、スーパーバイザーと、ハローワークの就労支援ナビゲーターとで個別の支援状況を集積し評価分析

平成24年度事業			事業費計 (千円)
事業名	担当課	予算(千円)	
生活保護事業	生活支援課	2,700,000	事業費計 (千円) 2,700,000
生活保護事業	生活支援課	2,700,000	事業費計 (千円) 2,700,000
生活保護事業	生活支援課	2,700,000	事業費計 (千円) 2,700,000

まちづくりの目標 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまち

政策 3	誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします
------	-----------------------------

施策 08	自立に向けて生活困窮世帯を支援するまちにします	担当部(統括部)	保健福祉部
-------	-------------------------	----------	-------

【施策の展開の計画】

施策の展開(◎は重点的な取組み)			平成23年度	平成24年度
○第2のセーフティネット機能の充実	住宅手当特別措置事業や、公共職業安定所(ハローワーク)・社会福祉協議会の各種貸付制度など、第2のセーフティネット機能の充実と実効性の確保を国に働きかけます。	計画	国の施策について情報収集・研究を行い、市の取組み・実情をふまえて充実・改善を国に要望	国の施策について情報収集・研究を行い、市の取組み・実情をふまえて充実・改善を国に要望
		実績(成果)		
		次年度課題		
○漏給防止	民生委員・児童委員との連携のもと生活保護制度の周知を図り、地域での見守り支援を進めます。	計画	民生委員・児童委員との連携を密にし、生活保護制度の周知や被保護者の相談を実施	民生委員・児童委員との連携を密にし、生活保護制度の周知や被保護者の相談を実施
		実績(成果)		
		次年度課題		

摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと			平成23年度	平成24年度
関係機関との連携による支援の強化	小規模な市である利点を生かし、社会福祉協議会や地域包括支援センターなど関係機関との緊密な業務連携を進め、適切な福祉サービスの活用を図ります。	計画	関係機関と連携を密にし、被保護者が抱える個別の課題について、きめ細かく対応	関係機関と連携を密にし、被保護者が抱える個別の課題について、きめ細かく対応
		実績(成果)		
		次年度課題		
社会資源の活用による支援	業務連携を進めるとともに、ネットワーク機能を強化し、地域の医療機関や社会福祉施設などの社会資源の有効活用を図ります。	計画	地域の社会資源が的確かつ効率的に利用できるよう、情報を収集し共有化	地域の社会資源が的確かつ効率的に利用できるよう、情報を収集し共有化
		実績(成果)		
		次年度課題		

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
国の施策について情報収集・研究を行い、市の取組み・実情をふまえて充実・改善を国に要望	国の施策について情報収集・研究を行い、市の取組み・実情をふまえて充実・改善を国に要望	国の施策について情報収集・研究を行い、市の取組み・実情をふまえて充実・改善を国に要望	国の施策について情報収集・研究を行い、市の取組み・実情をふまえて充実・改善を国に要望
民生委員・児童委員との連携を密にし、生活保護制度の周知や被保護者の相談を実施	民生委員・児童委員との連携を密にし、生活保護制度の周知や被保護者の相談を実施	民生委員・児童委員との連携を密にし、生活保護制度の周知や被保護者の相談を実施	民生委員・児童委員との連携を密にし、生活保護制度の周知や被保護者の相談を実施

平成24年度事業			事業費計 (千円)
事業名	担当課	予算(千円)	
生活保護事業	生活支援課	2,700,000	2,700,000
生活保護事業	生活支援課	2,700,000	2,700,000

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
関係機関と連携を密にし、被保護者が抱える個別の課題について、きめ細かく対応	関係機関と連携を密にし、被保護者が抱える個別の課題について、きめ細かく対応	関係機関と連携を密にし、被保護者が抱える個別の課題について、きめ細かく対応	関係機関と連携を密にし、被保護者が抱える個別の課題について、きめ細かく対応
地域の社会資源が的確かつ効率的に利用できるよう、情報を収集し共有化	地域の社会資源が的確かつ効率的に利用できるよう、情報を収集し共有化	地域の社会資源が的確かつ効率的に利用できるよう、情報を収集し共有化	地域の社会資源が的確かつ効率的に利用できるよう、情報を収集し共有化

平成24年度事業			事業費計 (千円)
事業名	担当課	予算(千円)	
生活保護事業	生活支援課	2,700,000	
生活保護事業	生活支援課	2,700,000	